

平成19年度 関東高等学校女子バスケットボール大会

平成19年6月10日(日)

【女子】準決勝 富士北麓公園体育館 Aコート 第2試合

県立金沢総合(神奈川)	51	$\left. \begin{array}{l} 16 - 24 \\ 6 - 22 \\ 8 - 31 \\ 21 - 26 \\ - \end{array} \right\} 103$	東京成徳大学(東京)
-------------	----	--	------------

県立金沢総合(神奈川) コーチ 星澤 純一

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4	伊藤 永	0	0	2	0	3	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1
5*	中村 茜	2	0	2	1	2	0	0	2	0	4	4	5	0	0	4
6*	傳田 みのり	6	0	4	3	9	0	0	1	4	2	6	0	3	0	3
7*	篠崎 澤	9	1	5	3	5	0	2	5	0	6	6	2	4	0	5
8*	小崎 歩	0	0	0	0	1	0	0	5	1	1	2	0	1	0	2
9	則本 真奈	4	0	0	2	3	0	2	1	0	0	0	2	0	0	2
10*	金山 舞穂	9	1	7	3	6	0	0	2	0	4	4	0	4	0	8
11	長谷川 由佳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
12	小原 みなみ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	1	0	2
13	大倉 真美	4	1	2	0	2	1	2	3	1	0	1	1	0	0	4
14	永山 祐佳	9	1	1	3	6	0	0	3	1	2	3	0	1	0	3
15	松木 ひかり	5	0	2	2	4	1	2	3	1	3	4	0	1	0	2
16	山田 麻莉	3	1	4	0	1	0	0	4	0	1	1	0	1	0	1
17	大竹 真理															
18	本庄 美月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1
チーム		51	5	29	17	42	2	8	33	14	28	42	10	17	0	42

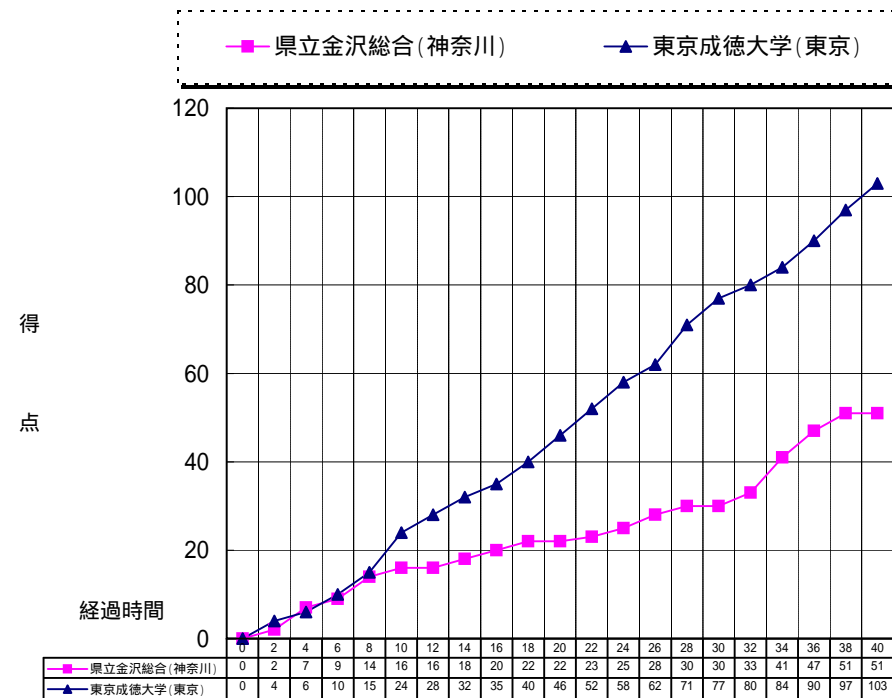
*:スターティングメンバー 確率 17.2% 40.5% 25.0%

東京成徳大学(東京) コーチ 下坂須美子

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	本田 雅衣	5	1	3	0	5	2	2	1	0	7	7	2	1	1	2
5	光山 慈能	5	1	1	1	1	0	0	1	2	0	2	1	2	0	2
6*	天野 佳代子	12	0	0	4	7	4	4	1	2	4	6	1	5	4	1
7*	間宮 佑圭	26	0	0	9	15	8	8	1	5	8	13	1	5	4	1
8	富田 夕貴	10	2	6	0	2	4	4	0	1	0	1	5	4	0	4
9	片山 浅美	7	0	0	2	8	3	5	1	3	1	4	0	1	0	4
10	山尻 泰葉	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
11	水野 圭子	0	0	0	0	1	0	2	1	2	4	6	1	1	1	0
12*	宮崎 優子	7	0	1	3	6	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0
13*	金子 実由紀	6	0	4	3	4	0	0	0	0	3	3	6	1	0	4
14	山本 千夏	19	0	2	7	9	5	7	1	4	0	4	2	1	0	2
15	篠原 恵	4	0	0	1	3	2	3	2	1	2	3	2	3	0	1
16	金子 知佳															
17	小島 つばさ															
18	工藤 安沙子	2	0	0	1	3	0	0	0	1	2	3	1	1	0	1
チーム		103	4	17	31	65	29	38	11	23	33	56	22	25	10	22

*:スターティングメンバー 確率 23.5% 47.7% 76.3%

2分毎による得点の推移



戦評

両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、東京成徳は 間宮の高さとパワーを活かしたプレーで連続ゴールをあげるが、金沢総合もスクリーンを有効に使ってノーマークを作り、金山 松木らが得点をあげて、一進一退の攻防となる。しかし、東京成徳の高さに対して金沢総合はシュートファールがかさみ、そのフリースローを確実に沈めた東京成徳が24-16と8点リードで1Qを終了。

2Q、東京成徳の高さがディフェンスでもフレッシュを駆け始め、金沢総合の得点が伸び悩む。その間にも 本田 富田の3P、間宮のリバウンドシュートなどで着実に得点を重ね、46-22と東京成徳がリードを広げて終了。

3Q、追いつきたい金沢総合は、大倉 篠崎らが果敢にゴールに切れ込み反撃の糸口をつかもうとするが、フリースローがリングに嫌われてしまう。頻りに交代を繰り返してリズムを変えようとするが、東京成徳は交代で出てきたメンバーもよく走り、77-30として終了。

4Q、東京成徳のターンオーバーが目立ち始め、金沢総合は 金山 山田 大倉らの3Pで粘りを見せる。 則本のドライブインも効果的に決まるが、東京成徳は最後までよく走り、高さとスピード、パワーを活かしたプレーで103-51で勝利をおさめた。

主審 渡邊 整 (栃木)

副審 丸山 淳 (山梨)

記入者 吉川 仁 (高体連)